市町村名	国頭村
------	-----

沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート 【後年度発現事業】

事業名	多自然川づくり事業				新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(7)-イ 計画的な生活基盤の整備	
担当部課名	建設課		事業実施 年度	平成 24	~ 令和 4	年度 III-1-(1)	
事業内容	観光誘客や環境教育の場としての活用を図るため、中心市街地を流れる普通河川(辺土名川)の整備を行う。						
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		~R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	合計	
	A. 予算現額	771,793	70,000	8,952	12,984	863,729	
	B. 執行済額	762,766	60,072	8,952	12,983	844,773	
	うち 交付金充当額	610,210	48,057	7,162	10,386	675,815	
	執行率(%) (B/A)	98.8%	85.8%	100.0%	100.0%	97.8%	
執行状況の説明	・最終的な執行率は97.8%となり、概ね計画的に執行できた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	河川工事の実施	目標	L=245m	L=85m	L=178m	L=87m	L=121m
		実績	L=268m	L=97m	L=57m	L=87m	L=121m
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	河川工事整備率	目標	73% 360m	61% 734m	76% 912m	100% 890m	100% 1,011m
		実績	76% 649m	62% 746m	66% 803m	100% 890m	100% 1,011m
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み

事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	☐ 中期にわたる事業効果 ☒ 後年度に発現する事業効果		○年度	○年度	○年度	○年度	R6年度 目標/発現年度
	整備した河川沿いにある商店街の観光誘客イベント参加者数 720人	目標	-	-	-	-	-
実績		-	-	-	-	-	0人
整備した河川での環境学習参加者数 20人	目標	-	-	-	-	-	20人
	実績	-	-	-	-	-	0人
状況説明	【R4年度】 ・観客誘客イベント及び環境学習が未実施で目標を下回っている。 【R5年度】 ・観客誘客イベント及び環境学習が未実施で目標を下回っている。 【R6年度】 ・観客誘客イベント及び環境学習が未実施で目標を下回っている。						

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
--	---------------------------------------

<p>【R4年度】 ・新型コロナ感染拡大防止対策等が緩和されてきたが、依然として村内での感染者が発生していた為、イベント及び環境学習を実施できなかった。</p> <p>【R5年度】 ・新型コロナ完成拡大防止対策等が緩和され5類に移行したが、イベント及び環境学習の調整に時間を要し実施できなかった。</p> <p>【R6年度】 ・イベントについて主催団体の活動が行われていない状況であり実施できなかった。また、環境学習については河川の水位や植生の状況により環境学習は行われていない。</p>	<p>【R4年度】 ・関係機関が連携しコロナ感染拡大予防の対策を講じながら開催を検討する必要がある。</p> <p>【R5年度】 ・5類に移行したことから、関係機関が連携し開催に向け調整を行う必要がある。</p> <p>【R6年度】 ・イベントについては開催の目的がたっていない状況である。環境学習については、教育機関が学習を行う目的がたっていない状況である。</p>
--	--

今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)

<p>【R5年度】 ・参加人数の制限や蜜を避ける方法について具体的な検討を進める。</p> <p>【R6年度】 ・関係機関が連携しイベント及び環境学習を再開する。</p> <p>【R7年度】 ・イベントの開催は困難なことから河川及び周辺の桜が開花する時期に花見の場所として活用を図る。環境学習については、近くのこども園の園児が河川で遊んでおり自然が多く残る環境とのふれあいの場として活用を継続する。</p>